

議会議会だより やまもと

Vol. 180

平成30年8月1日発行
宮城県山元町議会



みやまっこクラブ
(ニュースポーツを楽しむ子どもたち)

第2回定例会

会期 6月7日
～14日

■第2回定例会	P2
議決結果	P5
一般質問	P6
■委員会報告	P13
委員会視察研修報告	P14

10億689万円を可決

一般会計予算総額で 113億2548万円に



提出議案の説明

補正予算概要
 今回の補正予算は、一般会計のみの予算で、当初予算を骨格予算として編成したことから、町長公約を踏まえ、政策的予算の内付けを行い、その他補助事業の内示など当初予算の段階で予算措置ができなかったものについての予算となります。

第2回定例会は6月7日から14日まで開催され、町長から提出された議案等23件（報告7件、承認4件、条例7件（うち新規1件）、契約4件、補正予算1件）及び委員会からの発議案1件すべてを可決しました。

一般質問は、2日間にわたり7人の議員が町政をただしました。

町長公約の主な予算

新規	保健センター改修事業	1,494万円
	水産業漁具整備補助事業（噴流式マンガ）	1,732万円
	小・中学校エアコン設置基本計画業務	250万円
継続	定住促進事業	6,648万円
	お試し移住・交流推進事業	1,669万円
拡充	婚活支援事業	469万円

主な質疑内容

○新庁舎備品購入事業

2億3354万円

議員 備品購入に当たり、職員にどんな指示をしたのか。
町長 一定の機能を持ち、グレードについては慎重にと指示しました。
議員 全てが一般財源となっているが間違いないのか。
課長 新庁舎の建設は災害復旧で、備品は全額一般財源での対応です。
議員 壊れた備品は対象になると思うが。
課長 備品は対象とはなりません。
議員 極力節約し、使えるものは使う考えはなかったのか。
課長 ユニバーサルデザイン設計のため、新しい備品を考えました。議員 追加費用の見通しは。
課長 基本的にはこの費用で賄えるものと考ええます。



建設中の新庁舎

※ユニバーサルデザイン
 年齢や身体能力にかかわらず全ての人に適合するデザイン

○小・中学校エアコン設置基本設計業務委託

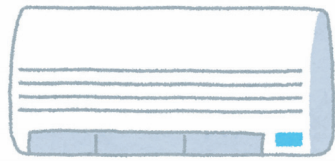
250万円

議員 エアコンの設置を前提にした調査予算か。

町長 そのとおりです。

議員 小中学校へのエアコン設置は非常に少ないが、どう考えるか。

町長 子育てするなら山元町という大きな枠組みの中で、学校教育環境を少しでも整備し、また、第二小学校とのバランスを考えた対応です。



○定住促進対策費

お試し移住・交流推進プログラム実施
業務委託
1,669万円

議員 業務委託の内容は。

課長 この事業は29年度から3カ年の計画とし、昨年度は短期の体験で鷺足のミガキハウスを活用しました。今年度は花釜地区のログハウス所有者からの申し出があり、中長期の



お試し移住予定のログハウス

体験として、仕事体験ツアーを予定しています。

議員 お試し移住の体験受け入れ人数は。

課長 30年度は10名を予定し、移住・定住の目標数値は2名を予定しています。

○保健センターの改修

1,494万円

議員 改修内容は。
課長 主にトイレ、玄関、壁、電気、カーテンです。

議員 保健センターはこのまま残すのか。
町長 重複する施設がなく、機能維持のためです。



保健センターでの検診

○トレーニング機器購入費

485万円

議員 利用可能な年代は。

課長 大型のトレーニング機器のため、高校生以上を対象とし、講習会終了後に利用できます。



議案審議

新規条例

可決

震災遺構保存条例（議案27号）
（産建教育常任委員会へ付託）

○提案理由

東日本大震災において被災した旧中浜小学校を、震災遺構として被災した状態のまま保存することにあたり、建築基準法の適用から除外する必要があるため。



旧中浜小学校への視察

○目的

震災遺構を保存し、震災の記憶と教訓を後世に継承し、防災意識を高めるため。

○委員会での主な質疑

Q：改修で20年間の施設見学は可能か。

A：校舎の耐用年数は50年と言われ、30年経過しているため、今後20年程度は大きな問題は生じないと考えています。

Q：それ以降の長期計画は。

A：後世に残るものとして、外から見られるよう検討をしています。

Q：建築基準法の適用を除外することにより、万一の時の保険は。

A：先進地を参考に検討をします。

○委員会審査結果

「可決すべきもの」として報告。

条例の一部改正

駐車場条例（議案33号）

○提案理由

坂元駅前駐車場に関する規定を追加するもの

○改正内容

納入方法	使用単位	使用料
現金	山下駅前駐車場 1台につき24時間まで	300円
	坂元駅前駐車場（月極駐車場使用料） 1ヵ月まで	町内 3,000円 町外 4,000円
払込式 回数駐車券 （プリペイドカード）	山下駅前駐車場 1台につき24時間まで 1回300円で21回分	5,000円

可決



坂元駅前月極駐車場

契約

可決

交流拠点施設新築工事

（坂元駅前産直施設）

契約金額（税込）

2億7399万6千円

契約相手

阿部建設株式会社

工事概要

建築構造

木造 平屋建て

建築面積

A11763.68㎡

工期

契約日の翌日から平成

31年1月7日まで



安全祈願祭

消防ポンプ車等更新事業

購入品目 小型動力ポンプ付軽自積載車（4輪駆動）2台

購入金額（税込）

908万8980円

納品期限

平成30年12月21日

更新先

1分団3班 大平

2分団2班 山寺

平成30年第2回定例会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
報告第 2号	専決処分の報告について(工事請負契約金額の変更) 【山下花釜線】	報 告
報告第 3号	専決処分の報告について(工事請負契約金額の変更) 【上平磯線】	
報告第 4号	専決処分の報告について(工事請負契約金額の変更) 【中山熊野堂応急仮設住宅解体工事】	
報告第 5号	繰越明許費繰越計算書(平成29年度山元町一般会計)	
報告第 6号	事故繰越し繰越計算書(平成29年度山元町一般会計)	
報告第 7号	山元町水道事業会計予算繰越計算書について	
報告第 8号	山元町下水道事業会計予算繰越計算書について	
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて【町税条例の改正】	
承認第 2号	専決処分の承認を求めることについて【国民健康保険税条例の改正】	
承認第 3号	専決処分の承認を求めることについて【地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の改正】	
承認第 4号	専決処分の承認を求めることについて【平成29年度一般会計補正予算】	
議案第27号	山元町東日本大震災遺構保存条例 【新規条例】	可 決 (全員賛成)
議案第28号	山元町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	
議案第29号	山元町農村地域工業導入地区における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例	
議案第30号	東日本大震災に伴う山元町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	
議案第31号	山元町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第32号	山元町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第33号	山元町駐車場条例の一部を改正する条例	
議案第34号	平成30年度 消防ポンプ積載車等更新事業に係る物品購入契約について	
議案第35号	平成30年度 交流請1号 山元町交流拠点施設新築工事請負契約の締結について	
議案第36号	平成29年度 復興1号 町道1号東街道線(その1)外5路線町道補修工事請負契約の変更について	
議案第37号	平成29年度 復興7号 町道12号中山線外3路線町道補修工事請負契約の変更について	
議案第38号	平成30年度山元町一般会計補正予算(第1号)	
委発第 1号	山元町議会委員会条例の一部を改正する条例	

○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者名	結 果
陳情第 5号	日本政府へ「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」提出に関する陳情書	原水爆禁止国民平和大行進 宮城県実行委員会 代表委員 青木 正芳	配布のみ
陳情第 6号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	移植ツーリズムを考える 理 事 井田 敏美	

交流人口100万人達成の具体策明示を

町長 **その段階ではなく、出来ていません**



議員 岩佐 哲也

議員 選挙公約である「交流人口100万人」達成のために、具体的にはどのような対策を考えているのか。項目別、年度別実施計画を企て進めるべきでは。
町長 計画はまだ作成していません。来年度の当初予算編成時に具現化します。
議員 それでは3期目の内1年が過ぎてしまう。なるべく早く明示し行動に移すべきでは。
町長 今年度は「ふれあい産業祭」その他で「交流人口30万人」が目標であり、達成の見通しです。



交流人口拡大に寄与した「ホッキ祭り」

議員 「交流人口」の反対語は「定住人口」である。すなわち交流人口には、町民のイベント等への来場者数は含めないのが一般的であり、30万人には町民を含めずはかるべきでは。
町長 町内外を分けるのは難しいです。
議員 おおよその目安で判断できるのではないか。公約達成のために、具体的実施計画を至急作成し取り組むべきである。



所得向上実現の 具体策の明示を

町長 **県内平均を目指します**

議員 町民一人当たりの所得目標額はいくらか。どれだけ向上させる計画か。選挙公約であり、目標を明確に示し努力すべきでは。
町長 22年度は一人当たり190万円、県内33位、27年度は276万円となり13位。町民所得は大幅に伸びており、復興事業が大きく寄与しています。県内平均を目指します。
議員 沿岸部の被災自治体は軒並み大幅に順位を上げています。震災復興事業による町内事業者の所得向上が影響しており、これは一時的なものである。わが町の28年度の所得は、256万円と大幅に減少している。
 復興関連所得を除けば200万円前後であり、これを本来の実情と見るべきで、そこからどう向上させていくのか。
町長 農業も回復、企業誘致も進んでおり、全体で9割ほどまで回復してきています。
 今後、農業の再生や更なる企業誘致による雇用確保などで所得向上に努めて参ります。
議員 所得向上の公約実現に向け、項目別、年度別に具体的な実施計画を作成し、町長の姿勢を明確に町民に示すべきでは。
町長 数値目標を設定する考えは、今のところありません。

ベツトタウン化を進める考えは

町長 市街地形成に積極的に取り組みます

議員 若者の定住促進策を考えた場合、町のメリットを最大限に生かせる方向性として、都市圏のベツトタウン化を進める考えはないか。

町長 震災前は仙台圏のベツトタウンとして魅力ある立地環境にありましたが、震災の影響等により、一時的に定住地としての魅力が薄れたものの、復興の取り組みにより町の顔となる市街

地が整備され、日常生活の大部分の用事が済ませられる環境が構築されました。
議員 新市街地の分譲宅地に空きが無く、駅周辺をドーナツ化して考えるのか。

町長 山下駅を中心に県道停車場線周辺は、すぐ開発可能なエリアとして土地利用を以前から考えています。また、花釜地区や山下地区との連担を含めた市街地形成

を考えます。
議員 副都心と位置づけた坂元は、今後どう考えていくのか。

町長 坂元駅東側は農振区域です。中学校側、道合地区、旧中学校跡地や旧坂元支所等の町有地を活用し、宅地化・業務地化も想定されると考えています。

議員 民間の賃借住宅は充実してきたが、若者には家賃が高い。町営住宅を利活用した方は考えられないか。



議員 貞悦 伊藤

町長 復興公営住宅の活用について、今回の公約にも掲げています。今後、具現化に向けて若者や新婚・子育て世代を意識した住宅施策も議会と協議しながら進めます。

高校生・大学生や青少年の育成を

町長 大事な視点として受け止めます

議員 町への帰属意識・郷土愛を育て、次世代のリーダー養成が必要である。例えば高校生や大学生の主張、また、議員や町との懇談会、交通安全運動や町内一斉清掃への参加等は考えられないか。

町長 高校生や大学生を意識した取り組みが今後大事になってくると、改めて認識させられました。大事な視点として受け止めます。結びつくものと考えられます。今後、町長部局と連携を図りながら検討します。



経験は人を育てる「餅つき」

人口減少問題に更なる対策を

町長 山元版人口減少対策に取り組みます



議員 ちやすひこ 菊地 議員

議員 人口減少最大の対策は、子供を増やすことに尽きると思う。その意味からも、婚活は大きな役割と言えるが、成果は。

町長 過去3年の成果を見ますと、成婚に至っている確証はありません。

議員 委託ではなく、町主体の事業展開をする等、婚活システムの見直しが必要では。

課長 新たに成婚に向けた提案を行い、実績が見えるよう努力していきます。

議員 専門部署が必要ではないか。

町長 この問題は、幅広い分野で施策展開が必要であり、早い機会



子に過ぎたる町の宝なし

に組織再編等に取り組みます。

議員 空き家対策についても、活用方法を明確に捉え、定住促進、人口減少対策につながるのでは。

町長 現在、空き家の明確な活用までは至っておりません。

議員 新規就農者への支援として、空き家を活用できないか。他県の例では、町とJAが連携し、営農指導による担い手の育成や、定

住促進と3つの大きな効果が出ているが。

町長 貴重な情報を参考にし、山元町版として検討します。

議員 少子化は、生産人口の減少のみならず、単身世帯の増加、介護力の低下、収入の不安定化、年金や医療・介護、生活保護費の増大等大きな問題となる。今後、更なる効果の高い対策に臨むことを申し入れる。

将来に希望の

持てる農業を

町長 町の状況を見据えて

いきます

議員 経営再開マスタープランによる担い手への集積は、どの程度進んでいるか。

町長 現在、周知の段階であり、このプランを活用するまでには至っていません。今後、マスタープランを見直して、農地中間管理機構を活用し、山手の遊休地・荒廃地抑制を図り、農地集積につなげます。

議員 規模拡大の希望者には、このプランはともメリットが多く、やる気のある若手農家には意欲が出るのでは。

局長 農地利用最適化推進委員が、地権者と耕作者の橋渡しを行い、担い手への集積・集約が一層図れます。

議員 今後も、再生した農業の将来に希望が持てるよう、最大限のサポートが必要と思うが。

町長 町全体の状況を見据え、農業のあり方を引き続き模索して行く必要があります。

議員 今後、農家の信頼に応えるべく、更なる施策を期待する。

人口減少に対する取り組みは

町長 人口流出抑止と転入促進に努めます

議員 年少人口減少の改善策は。

町長 両駅前にある復興公営住宅を、子育て世帯等に対象を絞った募集をして、就労も一定の支援を考慮し、移住・定住を積極的に進めます。

議員 人口減少の著しい坂元地区の市街地開発において、公共用地の活用をどのように考えているのか。
町長 駅、国道周辺を中心とした土地利用



いわさしゅういち 議員
岩佐 秀一

が基本でありませんが、旧坂元支所、旧坂元中学校の跡地は公共用地であり、土地利用の候補地となりますが、民有地が基本です。

議員 人口増加対策として、跡地である公共用地を区画整備し、子育て世帯に安価で提供をする考えはなにか。

町長 地元の方々の意見を集約しながら、まとまった土地であり、分譲用地や企業誘致



旧坂元支所

も考えられるので、慎重に取り扱っていくべきと思います。

議員 生産年齢増加対策として、工業団地を整備し、トップセー

町長 東部地区の産業ゾーンの用地活用を図ると共に、町民・議会の皆様と今後の方向性について、議論を深めていきます。

空き家対策の取り組みは

町長 検討し必要な対応をします

議員 少子高齢化の進行に伴い空き家が増加しており、景観、防犯、防火対策が深刻になりつつあるなか、早急に対策を立て、空き家の増加に歯止めをかけなければならぬと思うが、どのように考えているか。

町長 行政がどこまで関与すべきなのかは、慎重に検討し、必要な対応をしていきます。
議員 空き家の解体支援策として、町独自の考えはないのか。

町長 予算を見極めながら、議会とも協議し思い切った方向性を出すべきか、少し検討させていただきます。

議員 子供たちが通学路として利用している箇所、空き家の一部が破損しており、飛散する危険がある。危険箇所を把握し、所有者に空き家の管理徹底を厳正に行うように依頼することにより、景観・火災・防犯・安全確保につながると思うので、町の指導力を期待する。



これで良いのか、町長の政治姿勢は

町長 公約の実現は4年とは限らない



議員 小野 孝子
いわさ 岩佐

議員 「復興総仕上げ」に向けて、人口減少問題への取り組みでの出生率増加対策についての考えは。
町長 安心し生み育てられる環境整備を図ります。
議員 人口減少抑制対策については。
町長 魅力ある居住環境整備や、年齢階層のバランスを確保していきます。

傾け、どこにいかしているのか。
町長 特に、岩佐議員だけに回答する考えやアイディアは、持ち合わせておりません。
議員 新市街地と旧市街地とのバランスある町づくりについて、町全体での実感はできていますか。
町長 山下駅前へのスパー、ドラッグストアの進出により人の流れに変化がみられます。
議員 高齢化率が高くなり、他地域では、買い物弱者が続出している。交通網の整備を早急にすべきでは。
町長 公共交通会議は定期的に開催しており、不便解消に相当貢献しています。

きるよう努めます。
議員 新たな町の顔、核となつている拠点は。
町長 新山下駅前のつばめの杜地区です。
議員 町内全体をバランスのとれたものと実感できるか。
町長 各方面で整備され、より住みやすく利便性を感じています。
議員 東部地区の防砂・防風対策は。
課長 高さ2mの防風林帯の整備計画。応急措置として、3mの防護柵を防風林帯沿に設置予定です。住居地周辺にはベントナイトミルク工法により抑制対策をしています。今後とも県と協議していきます。



みんなで守ろう ふるさとを（坂元駅）

植林活動を実施しています。
議員 今後も、地域は地域で守る。行政・地域住民とボランティアの方々と協働した活動をすべきである。

※ベントナイトミルク
凝灰岩等が風化してきた粘土（モンモリナイトを主成分）に、水を加えミルク状にして地表面に散布する工法である。畑地の土壌改良剤・風食防止効果を図るため用いられている。

産直施設の見通しは

町長 ランドマークと考えています

議員 坂元駅前到来年2月開業予定である交流拠点施設の運営見通しは。

町長 持続的な運営、経営ができるように利用促進につながる取り組みを進め、町民から愛着を持ってもらえ、また町外からも足を運んでいただける、「町のランドマーク」となるよう考えています。

課長 開業から1年目の31年度は、売り上げ目標約2億円、町外来

場者15万人、33年度で売り上げ約3億円、町外来場者17万5千人を見込んでいます。

議員 今後、地元食材を使った郷土料理を提供するような飲食店の誘致を進めるとのことであるが、近くにイチゴ狩りのできる農園整備等は考えられないか。

課長 当然、相乗効果を図るため、イチゴ狩りに取り組んでいる方々に声掛けをしています。設備費の問題で

二の足を踏んでいる状況ですが、引き続き働きかけをしていきます。

議員 開業にあたっては、最初のイメージが重要であり、今後十分な協議のもと取り組むべきである。



はしもと けんいち 議員
橋元 伸一



駅前駐車場の今後の運営方針は

町長 坂元は月極と無料、山下は従来通り

議員 坂元駅前駐車場は、交流拠点施設整備に伴い月極3千円21台、無料が26台となり、山下駅前駐車場は、24時間毎300円（プリペイド割引あり）であるが、いつから月極を導入するのか。

町長 それぞれ置かれた状況が違うので、理解いただけるものと思います。2カ所の整合性ということであれば、山下駅前駐車場において、更なる設備投資をせず、利用者の負担軽減や利便性につながるよう、検討しなければなりません。

議員 同じ町内で料金体系が違うのは不公平である。通勤通学での利用において、住民サービスの観点から考えても、月極3千円を導入すべきだと思いが。

町長 設備投資に見合った利用収入もあります。必ずしも理想形にはなりません。実質的負担にあまり差の出ないように、工夫改善するよう進める必要があると思います。防災拠点としての駐車場も兼ねており、実態を見極め、どういう方策がとれるか検討します。

議員 1回300円は決して高いとは思われないが、毎日だと負担が大きすぎる。山下駅前駐車場に早急な月極契約の導入を求める。



空きの目立つ山下駅前駐車場

一大事業は共通理解の中で推進を

町長 今回の取り組みを教訓に今後対応



えんどう たつゆき 議員
遠藤 龍之

議員 私有地を町の公園として位置づけた経緯等これらの事業の具体的な内容を議会へ示しているか。

町長 議会で承認された復興計画に、戸花山での桜の植樹など、花の名所の整備を促進し、花を生かした交流拠点を図り、一翼として位置付けています。

議員 花を生かした交流拠点とのことだが、どうイメージすれば良いのか。

町長 そこに花があつて花見に多くの人がある、ということですが、

議員 交流拠点の一翼と示し、駐車場の整備

等、具体的な町の施策事業として取り組んでいるが、この計画に基づく具体的な事業内容の議会への説明はあったのか。

町長 復興計画に示しています。

議員 それはあくまでも計画として示したもので、その具体化として町の正式な事業とした、その正式な内容を議会に示したのか、という質問である。

町長 大きな意味での説明はしています。

議員 町長はこの事業を一大名所化を図り、交流人口を増やす、と強調しているが、具体的な全体像が見えてこない。そうした中、駐車場の整備等、具体的な町の支援が議会のチェックのないまま進められている。公的資金を使って支援する以上、事業計画等、具体的な支援内容を示し、共通

理解の中で、支援すべきと考えるが。

町長 基本的には議員の言う通りで、他意はありません。事業執行というところで共通理解を限りなくすべき、という点では今後、今回の対応を教訓にし、対応していきます。



復興計画に

危険区域の縮小明記

町長 シミュレーションの

結果見直し至らず

議員 今年で終了する復興計画に災害危険区域の縮小が示されているが。

います。
議員 理解できない回答である。

町長 津波シミュレーションの結果が得られていないので、見直しには至っていません。

議員 安全対策に問題のあった道合地区の災害公営住宅の建設については、懸念されていた安全対策が、まだ予定・計画の段階で不十分な状態の中で安全宣言し工事に着手しており、今回と考え方に大きな違いがみえるが、いかがか。

町長 移転促進地区になつていないか、どうかの違いではないかと思



道合地区の災害公営住宅

その他の質問

・両駅前駐車場は公平、平等な対応を
(料金設定について具体的な説明のない中での提案に問題はないか。)

総務民生常任委員会

調査事項

◇保育所再建

考察

・多様な保育サービス
の拡充を進めるには、
保育士不足が懸念され
る。正規職員を採用す
るため、策を講ずるべ
きである。

・保育所再建について
は、これまで候補地が
あるにもかかわらず、
進展がみられない。そ
の理由を整理し報告す
べきである。

◇公共交通のあり方

考察

・デマンド型乗り合い
タクシーは、今後の実
績を検証し、改善を望む。
・町全体とコンパクト
シティの繋がり、交通
弱者への配慮が足りな
い。

◇定住促進

考察

・定住促進事業を推進
するためには、他の課
との連携を構築する必
要がある。
・早急に実態調査を行
い、対策を講ずるべき
である。

◇財政健全化

考察

・財政諸表については、
引き続き、より分かり
やすい基礎資料の整理
に努めるべきである



運行時間の見直しを

産建教育常任委員会

調査事項

◇産直施設の運営

考察

・運営会社の代表は、
あて職ではなく経営
手腕のある人物を選
ぶべきである。
・開所にあたり、最初
の印象が大切であると
考えることから、営業
形態や品揃えについて
は十分協議を重ね充実
を図るべきである。

当初は産直施設とし
てスタートするが、将
来的には「道の駅」の
構想をもつて進めてい
くべきである。

◇避難道路「新浜・諏訪原線」

考察

・避難道路として整備
される路線であるが、
JRや国土交通省との

◇学校教育

考察

・学校給食について、
自営調理は人員確保
に問題があり、委託
の場合はコスト高に
もなる。今後、総合的
かつ政策的に判断す
る必要があると考える。
・いじめについて、学
校での初期対応により
解消しており、年1回
のいじめ問題対策連絡
協議会を開催している。
また、不登校の児童生
徒は前年比で増加して

おり、いじめ問題も含
めケースに応じて関係
機関と情報共有化を図
るとともに、ネットワ
ークを密にした対応を
今後も図るべきである。



今日の給食は…

◇東部地区農地整備

考察

・水田は30年5月、畑
地は同年6月から一時
利用地指定による営農
を再開したが、32年度
事業完了に向け、営農
再開後における農地等
不具合箇所の調整や地
権者とのスムーズな換
地作業に努力すべきで
ある。

また、農地整備に係
る換地により発生し
た非農地（産業・交流
ゾーン）の活用と環
境整備も同時に進め
るべきである。



視察研修報告

総務民生常任委員会

月 日

5月22日(火)
～24日(木)

項目・研修地

- 1 公共交通施策
(京都府長岡京市)
- 2 行政評価制度の
取り組み
(兵庫県播磨町・
猪名川町)
- 3 子育て支援対策
(兵庫県播磨町・
猪名川町)

考 察

- 1 本町とは、大きく
現状が違い、比較は
困難である。
- 2 決算を重視し、予
算に活かす考え方は、
本町も取り入れるべ
きと考える。
- 3 播磨町は、町全体
の取り組む姿勢が積



極的であるため、学
ぶ点が大いにある。

猪名川町は、本町
施策との差は大きく
見られない。対応策
として、子育て支援
策の充実を図るべき
である。

産建教育常任委員会

月 日

5月21日(月)
～23日(水)

項目・研修地

- 1 道の駅と町おこし
の取り組み
(千葉県君津市・
南房総市・館山市)
- 2 小中学校統廃合の
取り組み及び学力
向上
(千葉県南房総市・
館山市)

考 察

- 1 地域住民が互いに
連携し、地域振興を
図ることを目的に組
織が整備され、地域
資源を生かしたブラ
ンド化や地域人材育
成を図っている。
- また、行政は、施
設指定管理委託など
側面的に運営を実施
している。地の利や

特色を生かしたテー
マ設定、運営方法や
雇用は、高齢者の生
きがいを見いだし地
域活性化につなげて
いくという取り組み
は、おおいに参考に
資していきたい。

- 2 少子高齢化が進む
中で中学校の部活動
存続の問題が大きく
なった際に、市長・
教育長の強いリーダ
ーシップにより、学
校のあり方、部活の
あり方について議論
し、地域の核となる
「学校の灯を消さな
い」ため、小中一貫
校にするという結論
に至った。将来を担
う子どもたちが「誇
れるふるさと」「戻
ってきたくなるふる
さと」を教育目標に
掲げ、市全体での教
育のあり方・基本理

念を貫き実践してい
る。

学力向上のために
一貫校のメリットを
生かし、中学校教諭
が小学校高学年の指
導や、教員の切磋琢
磨により指導力向上
にもつながり学校経
営に生かされている。
統合に当たっては、
学校教育だけではな
く、保育所・幼稚園
なども含め幾度とな
く議論を重ね、今後
の地域のあり方を見
据えた考え方は、お
おいに参考に資する
べきである。



議会広報・ 広聴常任 委員会

月 日

5月15日(火)
～16日(水)

項目・研修地

- 議会広報編集
(福島県塙町・浅川町・
棚倉町)

考 察

町民に、見やすく、
わかりやすく、読みた
くなるような広報紙
づくりに取り組んで
いきたい。また、今後
は「町民の声」、「追跡
コーナー」、「活動内容」
など内容の充実を図
りたい。

議会日誌 (議会活動の一部を紹介)

- 4月 6日 亶理地方町議会議長会定期総会
- 4月 17日 亶理名取地区市町議会連絡協議会定例会
- 5月 8日 仙南・亶理地方町村議会議長会議
- 5月 28日 全国町村議会議長・副議長研修会及び
～ 29日 国会議員との懇談会
- 6月 5日 宮城県町村議会議長会臨時総会



※委員会の開催

総務民生常任委員会	4/17	5/1・11・31
産建教育常任委員会	4/17	5/11 6/1
議会広報・広聴常任委員会	4/4・13・19	
議会運営委員会	3/28	6/5
全員協議会	4/20	5/18 6/4



議長交際費

(議会活性化の一環として公開)

平成30年4月分交際費支出状況

区分	金額(円)	内容
会費	37,000	船岡駐屯地創立記念行事 ほか4件
慶祝	3,000	小坂杯 祝儀
その他	5,000	静和会会長 香典
合計	45,000	

平成30年5月交際費支出状況

区分	金額(円)	内容
会費	17,000	仙南・亶理地方議長懇親会 負担金 ほか2件
慶祝	5,000	原水爆賛助金
その他	31,200	視察研修土産代
合計	53,200	

平成30年6月交際費支出状況

区分	金額(円)	内容
会費	22,000	隊友会山元支部総会・懇親会 会費 ほか4件
慶祝	16,000	在京亶理山元例会 祝儀 ほか2件
その他	6,630	在京亶理山元例会土産代
合計	44,360	

春の叙勲 受章

旭日双光章 (地方自治功労)

議会議員在籍期間(36年6カ月)
昭和51年5月1日
平成23年11月12日

この度、町議会議員として9期の永きにわたり、地方自治の振興発展のためご尽力され、その間のさまざまな功績が認められ受章されました。



島田 敬二氏 (町区)

小学生が議場見学



坂元小学校3年生の皆さん

すきです
やまもと



放課後子ども教室「みやまっこクラブ」

放課後子ども教室は、町内で児童クラブのない中浜小・山一小で地域ボランティアの協力により始まりました。

みやまっこクラブは、17年度に「児童と地域の方々が触れ合えるようにしたい」、「学年を超えた活動により仲間づくりを進めたい」という目的で開設されました。

山小、山一小、山二小の児童を対象に、今年度は1年生から6年生までの24名、活動サポーター9名で、毎週月曜日14:45～16:00まで、山一小を拠点に活動しています。

遊びや伝統文化体験などの活動をとおり、地域の方々とのコミュニケーションをとることが上手になりました。

◆◆◆お知らせ◆◆◆

平成30年

第3回山元町議会定例会

傍聴してみませんか

会 期：8月31日(金)～9月19日(水)

開 会：午前10時

本会議：8月31日、9月4日、5日、6日、19日

(一般質問は、9月4日、5日の予定です。)

町ホームページをご覧ください

山元町議会 を 検索

- ・会議録
- ・議決結果
- ・議員、委員会等名簿
- ・会期日程
- ・議会だより
- ・決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

はじめに、この度の西日本豪雨災害で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧を祈念しております。

さて、蝉の鳴き声を聞きながら歩いていると、水しぶきとともに、子どもたちの歓声が聞こえてきます。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

委員会では、議会の内容を、より読みやすく、分かりやすく伝えるために、研修等で学んだことを参考にし、町民の皆様の手にとっていただけるといった紙面づくりに、これからの取り組みまいります。

夏本番、猛暑が続きます。水分補給を忘れず、健康に十分気をつけてお過ごし下さい。

委員 渡邊 千恵美

〈議会広報〉

広聴常任委員会

委員長 岩佐 秀一
副委員長 大和 晴美
委員 渡邊 千恵美
委員 岩佐 孝子
委員 橋元 伸一

※今回の議会だよりは、一部あたり約30円です。